

1 単元名 哲学的に、考えてみよう！
—「哲学的思考のすすめ」（東京書籍 2年）—

2 本単元で育成する資質・能力

- (1) 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能)
- (2) 文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係について捉えることができる。
(思考力，判断力，表現力等)
- (3) 共有する中で自分の意見を出したり，友達の見解を取り入れたりしようとしている。
(学びに向かう力，人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	・文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係について捉えている。 (C-ア)	・共有する中で自分の意見を出したり，友達の見解を取り入れたりしようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本教材は、恥ずかしいという感情の正体を、筆者の示す哲学的な思考の方法を用いて段階的に例証していく論説文である。読者に語りかけるような文体で、哲学的なものの考え方が解説され深くものを考えることの魅力と必要性を説く文章である。身近な具体例を複数取り上げ、それを一般化して導き出しており、主張と例示との関係を捉えるのに適した教材といえる。

(2) 生徒観

県学力診断のためのテスト（平成31年1月実施，第1学年*組*人）において，文脈に即して内容を的確に捉える力をみる設問では，正答した生徒が*人であった。誤答を分析すると，意見と根拠は捉えられたが，根拠のつながりが捉えられていない生徒が*人，意見と根拠を捉えられていない生徒が*人であった。また，今年度7月に実施した実力テスト（第2学年*組*人）において，文脈に即して内容を理解する力をみる設問では，正答した生徒が*人，誤答が*人，無答が*人であった。誤答を分析すると，ほとんどの生徒が，具体や抽象の概念を知らないために問われている箇所の付近から答えてしまっていた。以上のことから，文脈では情報と情報との関係を捉えることができるが，文章全体においては，その関係を捉えることができないことが分かった。これまでは，大まかに文章構成を捉えることや要約をすることを主に指導してきたが，文章全体と部分との関係について理解し，文章の展開に即して，主張と例示との関係を捉える力を育むことが必要であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では，中学校第2学年「哲学的思考のすすめ」において，意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係を理解し，読み取った内容を相関図に表すという言語活動を展開する。まず筆者が例として扱っている内容について意見文を書き，意見は赤枠，根拠は青枠で囲み，交流する。交流する際は，意見や根拠の提示の仕方や順番に視点を置くこととする。その後，情報と情報との関係についての概念を理解するために，教師が既習教材を用いたモデル図を提示する。そして，「哲学的思考のすすめ」を読み，意見と根拠を2色の付箋に書き出し，カテゴリーで整理していく。カテゴリーで整理することで，情報と情報との関係についての概念を理解していく。次に，各カテゴリーを線や矢印で繋いでいき，相関図を作成する。互いに作成したものを共有しながら，グループで相関図を作成する。最後に，クラス全体で相関図を共有し，個人で相関図を完成させる。この活動を通して，文章全体と部分との関係を捉えていく。以上のような学習活動を行えば，文章の展開に即して主張と例示との関係を捉える力が育つであろうと考える。

5 単元の指導計画（6時間扱い）

次	時	学習内容・活動	指導上の留意点（◎評価）
1	1	○筆者が例として扱っている内容について書いた意見文を交流し感想を述べ合い，学習への意欲をもつ。 ・根拠は，具体的に複数入れて，意見文を書くようにする。	◎自分の意見文と教材文との違いに気付き，学習の見通しをもとうとしている。 (主) 【観察，学習計画表の記述分析】

2	<p>1 2 3</p> <p>課題</p> <p>筆者の主張を支える根拠には、どんなものがある</p> <p>○本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○教材文を読んで、意見と根拠というカテゴリーで情報を抜き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見は赤、根拠は青の付箋に書き出す。 ・自分の気付けなかったことを付け足すために、ひとり学び後、グループで共有し、加除訂正する。 ・加除訂正する際は、意見は黄、根拠は緑の付箋に書き出す。 <p>○前時に抜き出した意見と根拠を、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象という3つのカテゴリーに</p> <p>まとめ</p> <p>筆者の主張は、意見と根拠、具体と抽象という2</p> <p>分ける。共有後、加除訂正する際は、青で行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた生徒の意見文をグッドモデルとして提示し、意見と根拠の概念や接続表現や指示語、文末表現に着目させる。 ・活動内容をモデル図で提示することで、本時の見通しをもてるようにする。 ・意見から先に見つけるように助言する。 ・他グループの意見を知るために、生徒作品をグッドモデルとして提示する。 ・加除訂正する際は、意見は黄、根拠は緑の付箋に書き出させる。 ・加除訂正する際は、青で行わせる。 <p>◎原因と結果、意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係についての概念を理解している。 (知) 【相関図の記述分析】</p>
4 本時	<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 モデル図を見ることで、本時の見通しをもつ。 2 個人で各カテゴリーの関係を捉え、相関図を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの横のつながりや主張への縦のつながりを矢印で示したり、関係性(役割)を言葉で表したりする。 ・各カテゴリーのつながりを順番で示す。 3 グループで各カテゴリーの関係について整理し相関図を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大したワークシートや個人が作成した相関図を使って、それぞれの考えを共有し合いながら各カテゴリーの横のつながりや主張への縦のつながりを捉える。 4 ギャラリーウォーク形式で他グループの相関図と比較する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで作成した相関図を机の上に置き、互いに見合う。 5 グループ活動やギャラリーウォークにおいて、気付いたことを基に、自分の相関図を加除訂正する。 <p>まとめ</p> <p>筆者の主張を支えるために、各カテゴリーは様々</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 本時のまとめと振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと、共有を通して学んだこと、次時に生かしたいことの観点で振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーに分けられた付箋を上から読み、論じられている順番に着目させる。 ・情報の内容や示される順番に着目し関係性を見出すよう助言する。 <p>◎カテゴリーとカテゴリーを矢印等で繋げたり、繋がる順番を示したりしている。 (思) 【相関図の記述分析】</p> <p>※努力を要する生徒には、カテゴリーに順番を記入させることで、つながりを捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに、各自の考えを自由に記述させ共有し、班の意見を整理する。 ・各自が作成した相関図を持ってギャラリーウォークを行い、自分の考えと比較させる。 ・自分の相関図に加除訂正する際は、赤で行わせる。 <p>・自分の相関図やグループで作成した相関図の記述を見ながら、本時の振り返りをするよう助言する。</p>
3	<ol style="list-style-type: none"> 1 ○ 単元で身に付けた力を意識しながら、意見文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で理解した情報と情報との関係を意識しながら、筆者が例として扱っている内容についての意見文を書く。 ○ 学習計画表に単元全体の振り返りをする。 	<p>◎文章全体と部分との関係に注意し、主張と例示との関係を捉えながら意見文を書いている。 (思) 【意見文の構成】</p>